

量の見込みと確保方策（総括表）

1. 幼児期の学校教育・保育【100～105頁】

(1) 1号認定子ども

(単位：人)

区分		算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	1号	国手引き	5,526	4,074	3,909	3,747	3,635	3,559	△ 1,042
	2号(教育)			1,047	1,003	964	939	925	
	1号	補正後①		4,780	4,406	4,031	3,658	3,285	△ 1,233
	2号(教育)			336	506	674	841	1,008	
確保方策 ②			6,735	6,171	6,124	5,896	5,846	5,846	△ 889
過不足 ②－①			1,209	1,055	1,212	1,191	1,347	1,553	344

(2) 2号認定子ども

(単位：人)

区分		算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	国手引き	補正後①	2,473	2,633	2,523	2,428	2,366	2,326	△ 147
				2,489	2,498	2,504	2,513	2,520	47
確保方策 ②			2,578	2,857	2,956	2,910	2,940	2,955	377
過不足 ②－①			105	368	458	406	427	435	330

(3) 3号認定子ども

(単位：人)

区分		算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	国手引き	補正後①	1,873	2,262	2,226	2,177	2,137	2,104	231
				1,980	2,034	2,087	2,142	2,195	322
確保方策 ②			1,752	2,045	2,185	2,259	2,319	2,354	602
過不足 ②－①			△ 121	65	151	172	177	159	280

2. 利用者支援事業（基本型・特定型）【106頁】

(単位：か所)

区分		算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	国手引き	補正後	1	—	—	—	—	—	—
				2	2	2	2	2	1
確保方策				2	2	2	2	2	1

3. 利用者支援事業（母子保健型）【106頁】

(単位：か所)

区分		算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	国手引き	補正後	1	—	—	—	—	—	—
				1	1	1	1	1	0
確保方策				1	1	1	1	1	0

4. 地域子育て支援拠点事業【107頁】

(単位：人日(量の見込み)、か所(確保方策))

区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30
量の見込み	国手引き	20,437	11,088	10,894	10,661	10,471	10,321	△ 10,116
	補正後		29,496	29,496	29,496	29,496	29,496	9,059
確保方策		5	6	6	6	6	7	2

【量の見込みの推計において、国の手引きと補正後(平成30年度実績含む)が大きく乖離している理由として考えられる事項】

- ・国の手引きでは、推計人口(0～2歳)×潜在家庭類型比率×利用意向率×利用意向日数により推計します。
【7,043人×100.0%×41.39%×3.54人日=10,321人日(令和6年度)】
この利用意向日数(3.54日(平均値))が実際の利用に比べて少ないため、国の手引きによる推計と乖離が生じたと考えられます。
- ・また、国の手引きでは、0歳～2歳児の推計人口により推計していますが、実際の利用では、3歳以上の利用もあるため、国の手引きによる推計と乖離が生じたと考えられます。

5. 妊婦健康診査【108頁】

(単位：人、回)

区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30
量の見込み	対象者数	国手引き	2,506	—	—	—	—	—
		補正後		2,426	2,378	2,338	2,319	2,299
	健診延回数	国手引き	29,213	—	—	—	—	—
		補正後①		27,959	27,410	26,951	26,734	26,504
確保方策②	健診延回数	29,213	27,959	27,410	26,951	26,734	26,504	△ 2,709
過不足②-①	健診延回数	0	0	0	0	0	0	0

6. 乳児家庭全戸訪問事業【109頁】

(単位：人)

区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30
量の見込み	国手引き	2,345	—	—	—	—	—	—
	補正後①		2,231	2,190	2,147	2,111	2,094	△ 251
確保方策②		2,345	2,231	2,190	2,147	2,111	2,094	△ 251
過不足②-①		0	0	0	0	0	0	0

7. 養育支援訪問事業その他要支援児童等の支援に資する事業【110頁】

(単位：人)

区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30
量の見込み	国手引き	26	—	—	—	—	—	—
	補正後①		26	26	26	26	26	0
確保方策②		26	26	26	26	26	26	0
過不足②-①		0	0	0	0	0	0	0

8. 子育て短期支援事業【110頁】

(単位：人日、施設数)

区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30	
量の見込み	利用日数	国手引き	19	57	56	54	53	52	33
		補正後①		53	53	53	53	53	34
確保方策	利用日数②	19	53	53	53	53	53	34	
	実施施設	9	9	9	9	9	9	9	

	大規模施設								
過不足②-①	利用日数		0	0	0	0	0	0	0

9. ファミリー・サポート・センター事業（就学後）【111頁】

（単位：人日）

量の見込み 確保方策	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30
量の見込み	国手引き	774	3,354	3,291	3,200	3,092	3,000	2,226
	補正後①		893	959	1,029	1,106	1,187	413
確保方策②		116,870	116,870	116,870	116,870	116,870	116,870	0
過不足②-①		116,096	115,977	115,911	115,841	115,764	115,683	△ 413

【量の見込みの推計において、国の手引きと補正後（平成30年度実績含む）が大きく乖離している理由として考えられる事項】

- 国の手引きでは、推計人口×潜在家庭類型比率×利用意向率（令和6年度）×利用意向日数により推計します。
 【低学年：7,642人×100.0%×0.1386%×104日＝1,102人日】
 【高学年：8,297人×100.0%×0.2199%×104日＝1,898人日（令和6年度）】
 利用意向は0.1386%、0.2199%（平均値）、利用意向日数は104日（平均値）というニーズ調査結果になりました。
 1人当りの年間利用日数の実績値が資料としてないため比較はできませんが、実際の利用には料金が発生するなどにより、利用意向日数に比べ実際の利用が少ないため、国の手引きによる推計と乖離が生じたと考えられます。

10. 一時預かり事業（在園児対象）【112頁】

（単位：人日）

区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6-H30
量の見込み	国手引き	82,677	271,716	260,259	250,560	243,883	240,249	157,572
	補正後①		92,682	98,130	103,899	110,006	116,473	33,796
確保方策②		82,677	92,682	98,130	103,899	110,006	116,473	33,796
過不足②-①		0	0	0	0	0	0	0

【量の見込みの推計において、国の手引きと補正後（平成30年度実績含む）が大きく乖離している理由として考えられる事項】

- 国の手引きでは、推計人口×潜在家庭類型比率×利用意向率×利用意向日数により推計します。
 【1号利用：7,043人×53.03%×37.06%×21.28日＝29,449人日（令和6年度）】
 【2号利用：7,043人×46.97%×100.0%×63.72日＝210,802人日（令和6年度）】
 利用意向は37.06%、100.0%（平均値）、利用意向日数が21.28日、63.72日（平均値）というニーズ調査結果となりました。
 幼稚園や認定こども園における預かり保育の利用率の実績値が資料としてないため比較はできませんが、実際の利用には料金が発生するなどにより、国の手引きによる推計と乖離が生じたと考えられます。

11. 一時預かり事業（在園児対象以外）【113頁】

（単位：人日）

区分		算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み		国手引き	5,983	95,971	93,531	91,033	89,220	87,898	81,915
		補正後①		7,607	7,856	8,115	8,380	8,655	2,672
確保方策②	計		137,740	142,740	142,740	147,740	152,740	152,740	15,000
	一時預かり		20,000	25,000	25,000	30,000	35,000	35,000	15,000
	ファミサポ		117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	117,740	0
過不足②－①			131,757	135,133	134,884	139,625	144,360	144,085	12,328

【量の見込みの推計において、国の手引きと補正後（平成30年度実績含む）が大きく乖離している理由として考えられる事項】

- ・国の手引きでは、推計人口×潜在家庭類型比率×利用意向率×利用意向日数－ベビーシッター等の利用日数により算出します。

【13,559人×100.0%×40.41%×21.40日－29,353人日＝87,898人日（令和6年度）】

利用意向は40.41%（平均値）、利用意向日数が21.40日（平均値）というニーズ調査結果になりました。平成30年度における幼児期の学校教育・保育の利用率（申込み数）が60.8%、（令和6年度が66.4%）であることや、実際の利用には料金が発生するなどにより、国の手引きによる推計と乖離が生じたと考えられます。

12. 延長保育事業（時間外保育事業）【115頁】

（単位：人、施設数）

量の見込み 確保方策	区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	利用人数	国手引き	2,367	3,083	2,989	2,898	2,833	2,785	418
		補正後①		2,544	2,629	2,717	2,805	2,893	526
確保方策	利用人数②		2,367	2,544	2,629	2,717	2,805	2,893	526
	実施施設		全施設	全施設	全施設	全施設	全施設	全施設	－
過不足②－①		利用人数	0	0	0	0	0	0	0

13. 病児・病後児保育事業【116頁】

（単位：人日）

量の見込み 確保方策	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30	
量の見込み	国手引き	264	13,667	13,252	12,842	12,542	12,334	12,070	
	補正後①		2,639	2,639	2,639	2,639	2,639	2,375	
確保方策②		1,450	1,450	1,450	4,350	4,350	4,350	2,900	
過不足②－①			1,186	△ 1,189	△ 1,189	1,711	1,711	1,711	525

【量の見込みの推計において、国の手引きと補正後（平成30年度実績含む）が大きく乖離している理由として考えられる事項】

- ・国の手引きでは、推計人口×潜在家庭類型比率×利用意向率×利用意向日数により算出します。

【13,559人×45.36%×29.30%×6.84日＝12,334人日（令和6年度）】

利用意向は29.30%（平均値）、利用意向日数が6.84日（平均値）というニーズ調査結果になりました。市内に病児・病後児保育事業が1か所のみであることや、実際の利用には料金が発生するなどにより、国の手引きによる推計と乖離が生じたと考えられます。

14. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）【117頁】

（単位：人、クラブ数）

量の見込み 確保方策	区分	算出区分	H30年度 (2018年度)	R 2年度 (2020年度)	R 3年度 (2021年度)	R 4年度 (2022年度)	R 5年度 (2023年度)	R 6年度 (2024年度)	R 6－H30
量の見込み	利用人数	国手引き	1,931	1,983	1,938	1,893	1,834	1,770	△ 161
		補正後①		2,033	2,078	2,126	2,170	2,215	284
確保方策	利用人数②		2,243	2,557	2,597	2,597	2,597	2,842	599
	クラブ数		67	75	76	76	76	83	16
過不足②－①	利用人数		312	524	519	471	427	627	315